

「介護ビジネスの未来を創る」
週刊 高齢者住宅新聞
 Elderly Press Newspaper

2019年(平成31年)
4月17日
 第537号 (毎週水曜日発行)
 (株) 高齢者住宅新聞社
 〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15
 ☎03-3543-6852(編集部)
 発行人 西岡一紀
 年間購読料 22,680円(送料込・税込)
 ホームページ
<http://koureisha-jutaku.com>

施設らしくない施設を

社会福祉法人 一燈会

送迎は黒塗りの福祉車両

一燈会(神奈川県二宮町)の運営する複合型施設「サウスポート」(同開成町)は住宅型有料老人ホーム、デイサービスといった介護施設、診療所、脳梗塞リハビリセンターといった医療機関、薬局、学習塾、病児保育、カフェを併設した5階建ての施設。コンセプトは「介護施設っぽくない施設」。内装などに施設らしさを出さない工夫がなされている。

住宅型有老「ザ・プライム開成みなみ」(定員50名)では、浴室に檜風呂を採用。檜の香りを楽しみつつ入浴できる。浴室の内装は黒を基調とした高級旅館のような趣のあるレイアウトで、晴れていると窓から富士山が見えることも。

デイ「リハビリSP Aザ・プライム開成みなみ」(定員20名)は、カフェのような内装だ。利用者を30名まで



▲カフェ風の内装のデイ

受入れ可能なほど広いダイニング内に、5台の異なる種類のリハビリマシンが導入されており、用途に合わせたリハビリを行える。送迎車は黒塗りで、福祉車両らしさがないため、利用者やその家族からは「要人として送迎されているみたい」と喜ばれることも。

今後についてサウスポート統括COOの石井一之氏は「社会参加の機会を持てるようにしたい。施設内のカフェの有償ボランティアや住宅型有老内に生け花などのクラブ活動を

用意することも考えている」と語った。

「今までの介護施設のイメージをとにかく変えたかった。柔道場や学童保育として施設を開放することで、季節のイベントや災害時

などに来ようと思える場所にしたと思うた。今後も地域の若い世代と楽しく過ごせるよう仕掛けていきたい」(天笠理事長)